

船舶インシデント調査報告書

令和6年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和5年3月19日 13時50分ごろ
発生場所	神奈川県横須賀市猿島東方沖 横須賀港西防波堤灯台から真方位088° 1.6海里付近 （概位 北緯35° 17.4′ 東経139° 43.1′）
インシデントの概要	プレジャーボート戦艦NAGAIは、漂流中、主機が始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年7月14日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 戦艦NAGAI、5トン未満（長さ5.45m） 243-23184千葉、個人所有 ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力53kW、回転数毎分 3,500、4気筒、ボア82mm、使用燃料軽油、機関製造年月不 詳、平成4年4月進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を乗せ、千葉県市原市のマリーナを出航し、猿島東方沖で主機を停止して漂流し、釣りを行った後、船長が釣り場を移動しようと主機の始動操作をしたところ、セルモータが回らなくなった。</p> <p>本船は、船長が航行不能と判断して118番通報を行い、来援した監視取締艇にえい航された。</p> <p>本船は、横須賀港に入港した後、船長が主機の始動操作をしたところ、始動したので、自力航行して市原市のマリーナに戻った。</p> <p>船長は、後日、係留中に日を変えて数回主機の始動操作をしたところ、始動したので、主機が始動できない状況を再現できず、整備業者に原因の調査を依頼しなかった。</p> <p>船長は、本船を中古で令和3年12月ごろ購入した後、月に2～3回程度使用しており、ふだん、出航前に潤滑油の量、Vベルトの張り具合、ビルジ等の点検を行って主機等が正常に運転できていたので、整備業者による点検及び整備は行っておらず、また、購入以前の整備状況は不明であった。</p>
分析	本船は、令和3年12月以降整備業者による点検及び整備が実施さ

	<p>れていない中、漂泊中、セルモータが回らず主機が始動できなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、本インシデント後、主機が始動できない状況を再現できず、セルモータが回らなくなった状況を明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、令和3年12月以降整備業者による点検及び整備が実施されていない中、漂泊中、セルモータが回らず主機が始動できなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、定期的に整備業者による点検及び整備を依頼することが望ましい。